



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

2000年以前の木造住宅、9割超が耐震不足 木耐協調査

日本木造住宅耐震補強事業者協同組合は12月、2000年5月以前に建てられた木造住宅の91.7%が耐震不足であると公表した。2006年4月～2014年10月31日までに木耐協で実施した耐震診断のうち、診断結果を把握している2万676件を分析。それによると1950～2000年5月に着工された2階建て在来木造のうち、倒壊する可能性が高い(評点0.7未満)のは74.99%、倒壊する可能性がある(同0.7～1.0未満)のは16.72%で、9割以上が現行の耐震性を満たしていないことがわかった。さらに1980年以前の旧耐震基準の建物に限ると、約98%で耐震不足に。新耐震基準でも約85%で耐震性に問題があった。

情報提供: 新建ハウジング

YKK AP、国内最高の断熱性能を実現(熱貫流率0.78W/m²・K)～

YKK AP株式会社は、2014年4月に発売した「APW430」のフレームに断熱材を挿入するとともに、空気層には断熱性能に優れるクリプトンガスを注入した「APW430Kr」を12月19日に発売します。「APW430Kr」は、国内最高となる熱貫流率(U値) 0.78W/m²・Kを実現した高性能トリプルガラス樹脂窓です。2014年4月に発売した「APW430」は世界トップクラスの断熱性能と、重厚感を感じさせないシンプルでスリムな意匠性、優れたフレームデザインなどが評価され、初年度から当初計画を大幅に上回る販売を記録しています。YKK APは、高性能トリプルガラス樹脂窓のラインアップに国内最高の断熱性能を持つ「APW430Kr」を追加することで、住宅の断熱性能の向上により高い次元で貢献していきます。上記のU値=0.78 は、たてすべり出し窓+FIX 連窓 16513 サイズ(W1,690×H1,370)、JIS-4710-2004 に準じた社内試験値。

情報提供: YKK AP

ゼロエネ住宅普及ロードマップ策定へ 2020年に過半数目指す

総合資源エネルギー調査会の省エネルギー小委員会は12月25日、今後の省エネルギー施策に関する中間的整理を行った。家庭部門では、ゼロエネルギー住宅の普及加速、新築住宅の省エネルギー基準への段階的な適合義務化、家庭向けの広報強化などを進めていく。ゼロエネルギー住宅の普及加速に向けては、2020年、2030年の目標実現に向けてロードマップを策定する。具体的には2020年にハウスメーカーが新設する住宅の過半数がゼロエネルギー住宅になることを当面の目標とする。工務店への普及に関しては国土交通省と連携して進めることが必要とした。住宅の省エネルギー基準については、2020年度までに新築を対象に段階的に適合を義務化することを提言。なかでも外皮性能に関する基準の重要性を指摘した。

情報提供: 新建ハウジング

平成26年11月の住宅着工の動向について

平成26年11月の住宅着工戸数は78,364戸で、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の影響が大きかった前年同月比では、14.3%減となった。一方、そのような影響のない前々年同月と比べると、2.2%減となっている。また、季節調整済年率換算値では88.8万戸(前月比1.8%減)となった。利用関係別にみると、実数値では前年同月比で持家、貸家、分譲住宅とも減となった。また、季節調整値では貸家及び分譲住宅は前月比で減となった。持家の季節調整値については前月比で増となったものの、依然として低い水準で推移している。持家(注文住宅)の着工については、昨年10月からの受注減により、本年2月から前年同月比で減少している。事業者からのヒアリングによると依然として慎重に検討し決断を急がない顧客が多いとの見方がある一方で、展示場への来場者数では回復傾向がみられる。これらを踏まえ、住宅着工については、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。持家は前年同月比では10か月連続の減少(前年同月比29.3%減)貸家は前年同月比では5か月連続の減少(7.4%減)分譲住宅は前年同月比では2か月ぶりの減少(6.0%減)分譲マンションは前年同月比では2ヶ月連続の増加(2.4%増)分譲一戸建住宅は前年同月比では7か月連続の減少(12.5%減)である。府県別では大阪6013戸(前同月比1.7%↓)兵庫3265戸(18.7%↓)岡山788戸(33.2%↓)広島1305戸(28%↓)である。

情報提供: 国土交通省

LIXIL、高性能樹脂窓「エルスター-X」と高断熱玄関ドア「グランデル」が1月から発売開始

LIXILは、世界トップクラスの断熱性能(熱貫流率)0.79W/(m²・K)を実現した高性能樹脂窓「エルスター-X」、ならびに業界最多の21デザイン、16色の豊富なバリエーションを誇るドア厚60mmの高断熱玄関ドア「グランデル」を、2015年1月5日からいよいよ全国で販売開始します。また現存の木製サッシに匹敵する、国内最高かつ、世界最高クラスの断熱性能を有する「高性能樹脂窓」を開発しており、15年度中の商品化を予定しています。

情報提供: LIXIL